

東新町氷川神社郷土資料館所蔵品(一括)

(とうしんちょう ひかわじんじゃ きょうどしりょうかん しょぞうひん)

板橋区指定有形民俗文化財(民俗資料) 昭和59年12月20日指定

所在地：板橋区東新町2-16-1 氷川神社
 交通：東武東上線「ときわ台」駅徒歩12分
 都営バス・国際興業バス「東山町」
 徒歩3分

畑作を中心とした農村であった上板橋地域は、昭和40年代以降急速に宅地化されていきました。農地は姿を消し、また農家では生活様式の変化により、母屋の建て替えや納屋の取り壊しが行われ、多くの農具や生活道具が廃棄されてしまいました。このような状況を憂いた地元の有志は、当地域の生活を後世にのこすために、昭和46年(1971)8月に当神社の境内に資料館を建設し、農具や生活道具

を収蔵しました。

当資料館に収蔵されている資料は、ほとんどが当神社の氏子の範囲から集められたもので、江戸時代から昭和までで千点余の数に及んでいます。その内訳は、衣食住関連が300点ほど、生業関連が285点、社会生活関連が250点などと多岐にわたっていて、嫁入りの際に曳いてきた車付きの箆筒など珍しい道具もあります。

